

あの夕焼け空を見たか？！

8月28日の日暮れ時。

一仕事終えて理科室から職員室に降りると、なんとなく窓から入る光の色が違う！

これは、夕日の光の色。きっと美しく、ドラマティックな夕焼け空に。

運動場に出ると…。



なんでしょう。この
ボコボコの雲は！

積乱雲特有の気流による不思議な形をした雲が、黄色く光っています。



その横の小さな雲ま
でもが、鮮やかな色
に！

このように、空に浮かぶ雲の表情が刻々と変化していきます。

さて、夕焼けというと、夕日が沈んでいく時が一番綺麗と思いがちです。

しかし、夕日が沈んでいく瞬間はちょうど逆光になるので、雲の色は黒くなり、色彩が単調になりがちなのです。

むしろ、後焼けと言って夕日が沈んでからの方が、空の色や雲の色が複雑に変化していく様を楽しむことができます。



中層の雲が黄金色に輝き始めました。



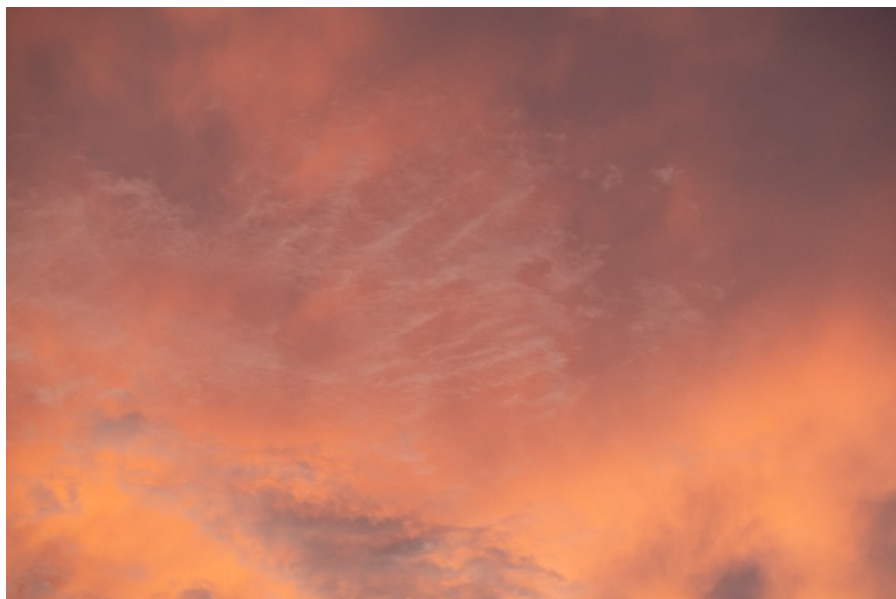
さっきのボコボコの雲はさらに怪しい光を放っています！

2年前の夏休みのことです。

ある5年生の児童が、夏休みの自由研究で「夕焼けの色が綺麗なときは、台風が発生していることがる。」と、夕焼けの写真を毎日撮って調べていました。

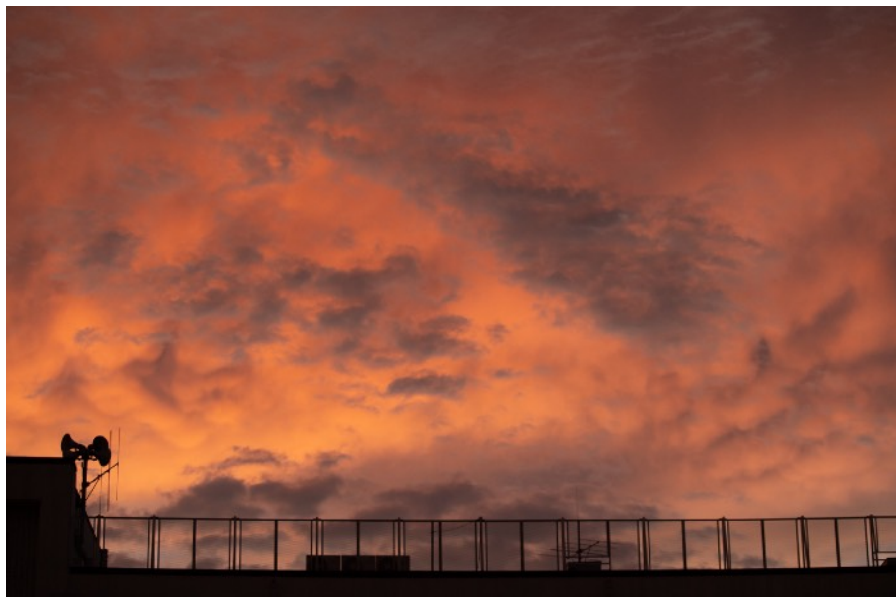
実際、今回の夕焼けでも、8月28日午後3時に、フィリピンの東方海上で台風9号が発生していたのです。

理科室の先生も「綺麗！」と思って何度か夕暮れ時の写真を撮ったことがあります。
そうした写真の多くが、台風が接近中か、もしくは、台風が去って間もない時期に撮影したものだった気がします。



雲の色はさらにサーモンピンクに。

また、山の風景を撮影するある写真家は、こうした厳しい気象条件の方が美しい夕焼けや朝焼けの写真が撮れると、台風が近づいているときに山に登ってテントを張り、危険を冒してまでも撮影に挑むのだそうです。



怪しい雰囲気的美しさです。

日没から時間が経つと、光の色はどんどんピンクや紫と、変化していきます。
ちょうどこの時期、空の高いところでは空気の透明感が増し、秋の気配を感じます。
それゆえ、この季節の夕焼けは一層心にしみる鮮やかな色彩を見せてくれるのでしょうか。
時を忘れて、夕焼け空の色の移ろいを味わってみるのはいかがでしょうか。